

西吉富小学校 「稲刈り体験」

西吉富小学校5年生21名は、専光寺渡さん(J A福岡豊築)と安元輝己さん(安雲西)の指導により米づくりに挑戦しています。

6月に田植えをしてから約3ヶ月。自分たちで植えた稲(福岡県産米夢つくし)がたわわに実り、収穫の時期を迎えました。

9月29日(水)に、手作業による昔ながらの稲刈りを体験。一株一株丁寧に刈り取った稲はその場で束ね、竹で作った「稲架(はざ)」にかけて天日干しする「架け干し」をしました。

次回は、ヒヨクモチの稲刈りした後、脱穀体験(足踏み脱穀機)をします。子ども達は毎回、初めての体験を楽しみにしているようです。最後は収穫したお米でおにぎりやお餅などを作って、お世話になった方々に振る舞う「ありがとう集会」で締めくくります。



友枝小学校 「芋掘り集会」

10月7日(木)、総合学習の一環として友枝小学校でサツマイモの収穫体験が行われました。このサツマイモは、6月に自分たちでつるを差し、育ててきたものです。収穫したサツマイモは、各学年で話し合っておやつ作りをします。

この活動は「班でサツマイモを育てることにより、協力することの大切さを知るとともに、収穫の楽しさを味わう」ことを目標に毎年実施しています。子ども達は入念に準備をして「サア、イモホリダア〜」と歓声をあげながら一所懸命に掘っていました。



食欲の秋、収穫の秋

さわやか市「大平」 ☎72-3945

「柿」
旬 10月中旬～12月上旬

アルコール分解作用があるので、二日酔いの朝には、柿を食べましょう!

竹下 武博さん(東下)

柿には、ビタミンC、カロテン、ミネラルなどの食物繊維が豊富なので、風邪や貧血予防、血圧降下が期待できます。特に、カロテンの一種「クリプトキサンチン」と「リコピン」に抗ガン作用、ビタミンCにアルコール分解作用があるとされています。

道の駅「しんよとみ」 ☎84-7077

「栗」(品種:丹沢)
旬 9月～11月上旬

夫婦で一生懸命作ってます!
丹沢は渋皮煮にぴったり!

加来野 末雄さん、緑さん(西友枝)

秋の味覚、栗には、ビタミンB群、食物繊維、特にカリウムが豊富に含まれており、高血圧や動脈硬化に効果があるとされています。特に丹沢は、甘くて渋皮煮にぴったりです。栗ごはんや冷凍保存してお正月の栗きんとんにもぜひどうぞ!

11月の上毛ふるさとの味を紹介!

川ガニを使った「がん汁」

友枝川や山国川で取れた川ガニ(モクスガニ)を使い、秋から春ごろまで美味しく食べられる郷土料理のひとつです。今回は、食育ボランティアや男性料理教室の会員の方と昔ながらの調理方法でがん汁を作りました。まず、モクスガニを石臼に入れ、杵を使って細かく砕きます。殻から身や内臓を汁の中に出し、ザルで何回もこして殻を取り除いた汁に熱を加えると、ふわふわとした固まりになって浮かび上がります。固まり始めたとき高菜(今回はホウレンソウを使用)を入れて出来上がりです。柔らかい食感と、懐かしい味が楽しめます。

昭和30年代から40年代頃までは川にカニがたぐさいて、がん汁は日常的に食卓に並んでいたようですが、今は食べることがないという若者が少なくありません。

先人たちに受け継がれてきた食文化を見つめ直すことで、豊かな食材を生む私たちの地域のすばらしさに気付き、「食」を守ることに繋がっていくのではないのでしょうか。

「がん汁」

材料 4人分

- モクスガニ 身5匹 オス1匹
- 塩 大きじ1/2
- 薄口醤油 大きじ7
- 酒 大きじ3
- 高菜の葉 1枚
- 水 540cc

作り方

- ①モクスガニを水洗いし、包丁でぶつ切りにする。ミキサーで細かく砕く。(臼に入れ砕く)
- ②ザルで身や内臓をこして、鍋に張ったダシ汁(水)の中に出す。こす作業を繰り返す。殻は除く。
- ③鍋を火にかけて、汁の実が固まり始めたら、小口切りにした高菜を入れる。薄口醤油で味付けし、沸騰させて出来上がり。

●問い合わせ先 教務課 学務係(TEL 72-3111 内線175)



▲成恒子ども神楽愛好会のかわいいパフォーマンス



▲「上毛万年の会」による上毛万年音頭

10月11日(月)、げんきの杜で上毛町制施行5周年記念講演会が開催され、約300名が参加しました。

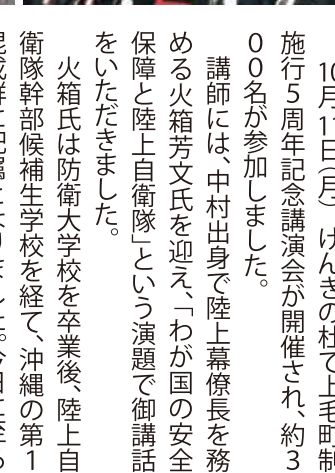
講師には、中村出身で陸上幕僚長を務める火箱芳文氏を迎え、「わが国の安全保障と陸上自衛隊」という演題で御講話をいただきました。

火箱氏は防衛大学校を卒業後、陸上自衛隊幹部候補生学校を経て、沖繩の第1混成群に配属となりました。今日に至るまで、23回の異動・転勤を繰り返して、北海道から沖縄まで全国各地を飛び回りながら、日々訓練を重ねてきたという御自身の経歴や、「実効性のある自衛隊づくりに必要な心構えと決意などを聞かせていただきました。

講演が後になると、同窓生や中村地区の懐かしい人たちに囲まれ、記念撮影や昔話に花を咲かせた後、皆さんに別れを惜しまれながら上毛町を後にしました。

町制5周年記念講演会 中村出身の火箱芳文氏が講演

相芳文陸将



第5回上毛祭 心地よい秋空の下、1万人を超える人出で賑いました。

10月10日(日)、大ノ瀬官衙遺跡で第5回上毛祭が開催されました。午前中は、上毛町体育協会主催の「スポーツフェスタ in 2010 新体力テスト」が同時開催され、139名が麦わら帽子飛ばしや長靴飛ばしなどの、普段とは違ったユニークな体力測定を楽しみました。

午後からは祭り本番。オープニングセレモニーの後、定番となった松尾山のお田植祭をはじめ、京築子ども神楽フェスティバル、特別出演団体の琉球國祭り太鼓や庄内子供神楽のステージイベントが披露されました。

メインイベントの奉納台車レースは、1周300メートルのタイムや、パフォーマンスを競うものです。満開のコスモスに囲まれた会場内を、5人1組が一丸となつて最後まで走り抜き、無事、全チームがゴールしました。今年もいろいろ趣向を凝らしたコスチュームのチームが登場し、会場の注目を集めていました。

クライマックスは約250発の花火。澄み渡った秋の夜空を美しく彩りました。

今回で5回目となる上毛祭は、テナント出店が21団体、奉納台車レースの出走者が27チームと、いずれも過去最高。大ノ瀬自治会の皆さんによって育てられた200万本のコスモス目当ての観光客を含め、会場は1万人を超す来場者で大賑わいの一日でした。

